

議会活動フォト



①



②



③



④

①宇都宮市にLRT
(次世代型路面電車) 視察
宇都宮市にLRTが導入
された経緯や理由などを
伺ってきました。

②石川県ユースホステル
協会の市長訪問
協会副会長として、市長
訪問に同行させていただ
きました。

③日台友好交流フェス
ティバルに参加
日本と台湾との友好が更
に深まることが期待され
ます。

④プログラミング教育
2020年のプログラミン
グ教育本格導入に向けて、
金沢市も準備を進めてい
ます。

《喜多浩一プロフィール》

昭和45年5月 野町に生まれる

52年3月 藤蔭幼稚園卒

58年3月 森山町小学校卒
(金沢東警察署で少年剣道)

61年3月 星稜中学校卒
(剣道部主将)

平成元年3月 金沢泉丘高校卒
(剣道部主将)

9年3月 早稲田大学卒

平成9年4月 今村証券株式会社入社

23年1月 // 退社

23年4月 金沢市議会議員選挙に初当選

27年4月 金沢市議選挙で2期目の当選

野町校下青年会・野町弥生消防分団所属

金沢市泉本町に在住

資格 証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー

国家試験合格 行政書士・宅地建物取引士

家族 妻、長男(米泉ドジャース→石川中央ボーイズ)、次男

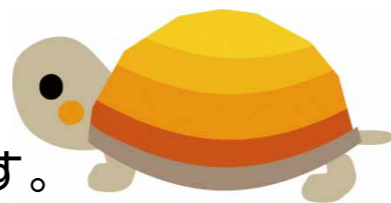
ご意見などございましたらお気軽に。

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1

金沢市役所6F・会派控室まで

ツイッター・フェイスブックやっています。

ぜひアクセスをお願いします！

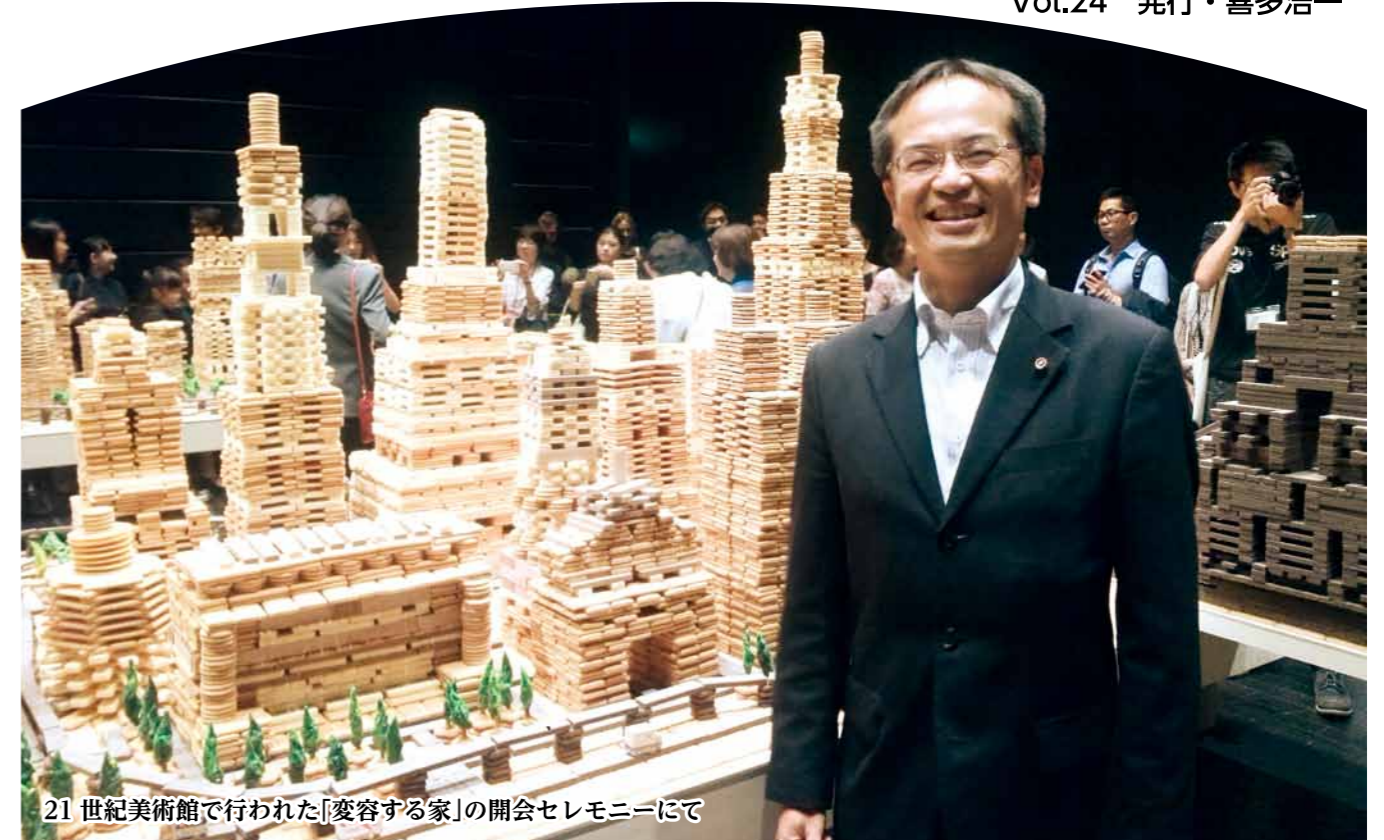


金沢市議会議員

喜多浩一通信

き た こう い ち

Vol.24 発行・喜多浩一



21世紀美術館で行われた「変容する家」の開会セレモニーにて

金沢市議会議員2期目も残り半年を切り

平成30年11月11日に金沢市長選挙投票日を迎え、山野市長が3期目の当選を果たされました。初当選時に公約に掲げた連続3期12年の最終任期を迎えたこととなります。

山野市長は、「世界の交流拠点都市」を掲げて重点戦略計画を策定し、毎年、内容を見直しながらこの計画に沿ったまちづくりを進めてきましたが、今任期の優先施策として石川中央都市圏(4市2町)での広域行政の推進、スポーツ文化の確立、建築文化の発信、子供の貧困対策の充実の4つを掲げました。

中でも、急速な人口減少社会を迎えるにあたり、白山市、野々市市、かほく市、津幡町、内灘町との広域連携は非常に重要な施策であり、あらゆる分野での協力体制が構築されていくことが予想されます。

私自身も、金沢市議会議員としての議席を皆様から頂いてより7年半が経ち、2期目の残り任期も半年を切りました。市民の皆さま方からの連日のように頂くご要望を叶えるべく日々走り続けてきましたが、まだまだ力不足のところが多いと感じます。一人前の市議会議員となるべく、残り任期も全力で努力していきますので、これからも変わらぬご指導・ご鞭撻をどうかよろしくお願いいたします。

この「喜多浩一通信」も24回目の発行となりました。バックナンバーについては下記アドレスにてご覧になれますので、アクセスしていただければ幸いです。

(喜多浩一)

<http://www.kita-koichi.com/archive2/>

平成30年市議会9月定例会での主な一般質問と答弁の要約

◎財政におけるリスク管理について

〈喜多浩一〉

財政が立ち行かなくなれば、どんな良い福祉政策も、どんな素晴らしい教育も、どんな立派な公共施設も意味をなさなくなります。夕張市を見れば明らかです。財政におけるリスク管理について、市長はどのように考えているのか、お答え願います。

〈山野市長〉

社会保障費の増大、市有施設の老朽化対策などに巨額の財政需要が見込まれることから、より高い予見性の発揮と、より長期的な視野に立った計画的、安定的な財政運営が求められると考えています。

◎eスポーツについて

〈喜多浩一〉

日本では今年、一般社団法人日本eスポーツ連合が設立され、ここ石川にもこの全国組織に加入すべく団体が立ち上がり、近く第一回目の大会を開くと聞いています。そこで、本市は今後、このような民間のeスポーツの動きにどう関わっていき、どう後押ししていくのかを具体的にお答え願います。

〈山野市長〉

国、民間等の動きを迅速に捉え、競技の普及と新たな産業創出の両面を考慮し、健全な発展に向けた環境整備に取り組むことが重要であると考えています。そのためには、まずはeスポーツの全国大会を誘致する必要があります。地域における代表選考の仕組みや会場、設備、企画運営に携わる専門人材の確保など、eスポーツの地域団体と連携して取り組んでいきたいと考えています。

◎ドローンの活用について

〈喜多浩一〉

本市の今後のドローンの活用についてどう考えているのか、具体的活用方法についてお答え願います。

〈山野市長〉

欧州向けプロモーション動画や浅野川にかかる歴史的な橋梁のライトアップ映像などの撮影などに使われてきました。今後、金沢港周辺地域活性化に向けた観光プロモーション映像の撮影など、様々な分野で活用していきたいと考えています。

今年度末から

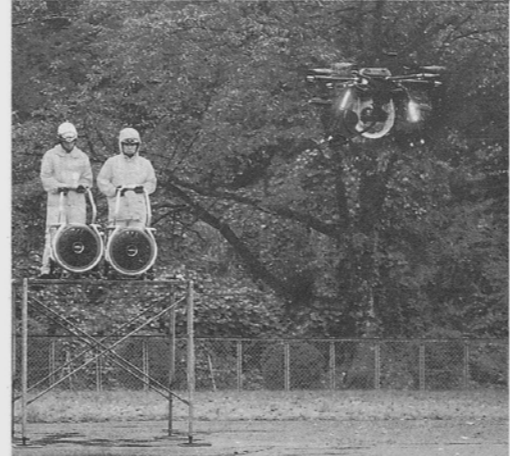
消防ドローン運用

市消防局は、導入を予定している小型無人機ドローンを、今年度末から運用する。横浜市に次いで全国2例目となる資機材搬送機能を備えた特注品で、災害現場での救助活動や情報収集に活用する。地震や豪雨など全国各地で大規模災害が発生する中、市の災害対応力を高め、防災につなげる。

市議会一般質問

13日再開した市議会9月定例会本会議で、山野之義市長と清瀬守消防局長が喜多浩一氏（自民）の一般質問に答えた。

導入するドローンは、風速10級の環境でも安定した飛行ができ、赤外線カメラやズーム機能付きカメラ、重さ5kg程度の資機材を搬送する機能を備える。購入金額は、運用に必要な付属装置を含め63万7千円となる。



ドローンの耐風性能を実験する消防局職員
—昨年10月、医王山スポーツセンター（市消防局提供）

導入後は、大規模火災時に上空からの延焼状況の確認、水難現場で救命浮輪の搬送などに活用する。洪水や土砂災害現場など、消防隊員が近づけない危険区域での情報収集も可能になる。12月に機体を納入し、各種災害現場に対応した操作訓練を行った後、現場で運用を始める。

清瀬消防局長は、国土交通省が認定するドローン操縦講習を職員3人が受講し、操縦技術などを習得したとし、「今後も計画的に操縦担当者の育成を図る」と述べた。

北國新聞 2018年7月24日付 朝刊

JICA研修行政官 金沢市役所を訪問
国際協力機構（JICA）の研修プログラムに参加するカザフスタンなど4カ国の行政官ら13人は23日、金沢市役所を訪れ、山野之義市長と懇談した。
一行は8月1日まで市内に滞在し、市の施設や県内自治体の視察などを通じて

地方行政について学ぶ。参加者を代表し、ジョージアのナトロンビリ・イヴァネさんがあいさつした。JICAから事業を受託する県ユースホテル協会副会長を務める喜多浩一市議らが同行した。

北國新聞 2018年9月14日付 朝刊

喜多浩一関連記事

北國新聞 2018年9月14日付 朝刊

ゲームで熱弁
○：eスポーツを取り上げた喜多氏は「『宿題はしっかりやるから』と言ってゲームを母親におねだりした」と、ゲーム好きだった子どもの頃を振り返った。議場は笑いに包まれたが、喜多氏が「ゲームと言えは悪いイメージを持つ人も多いかもしれないが、時代の変遷とともに見方が変わってきてつつある」と魅力や可能性を熱弁するところ、いいこと言うなあ」と感心の声。山野市長からも前向きな答弁を引き出した喜多氏、ゲームへの情熱が伝わった？

記者席

ソフト面で雪害対策を

喜多浩一氏（自民） 雪害に対しては、費用のからないソフト対策を充実させるべきだ。
山野市長 地域の除雪活動への支援や道路の除雪状況を市民に知らせる仕組み作り、ボランティア体制強化などに努めている。
喜多氏 雪害対策では、市民の協力や地域コミュニティの充実に必要になる。

山野市長 各校下・地区で策定が進められている地区防災計画の中に、地域の雪害対策を盛り込んでいた。除雪協力体制の強化につなげたい。
喜多氏 財政調整基金の残高に問題はないか。
山野市長 現在の30億円は決して多いとは思っていない。市債の繰り上げ償還にめどがついた時点で、積み増しを検討したい。